

第二回中間報告

国際ロータリー第 2710 地区 2022-2023 年度

グローバル奨学金奨学生：鈴木 健斗

1. 報告書提出日：2023 年 3 月 26 日 第二回報告

2. 基本情報：

派遣ホストクラブ及びカウンセラー：呉ロータリークラブ, 大之木小兵衛様

受入ホストクラブ及びカウンセラー：Rotary Club of Providence, Mr. Bill Applegate

教育機関：ブラウン大学公衆衛生大学院

専攻分野：公衆衛生修士号（マインドフルネス専攻、UG/MPH プログラム）

3. 学業面での成果：

1 月末から後期が始まり、早くも 1 ヶ月強が経ちました。今学期は、以下の 3 つの授業を受講しております。授業の内容等については第三回目の報告書にて詳しく報告させていただきます。

- PHP1670: Public Mental Health: A Framework for Studying and Preventing Mental Disorders（公衆のメンタルヘルス：精神疾患を学び予防するための枠組み）
- PHP1810: Community-Engaged Research in Public Health（コミュニティに根付いた公衆衛生研究）
- PHP1895: Mindfulness Epidemiology（マインドフルネス疫学）

授業外では、主に修士論文の執筆を行なっております。前学期から冬休み期間にかけて自ら企画した臨床実験を実施させていただき、今学期は収集したデータ分析及び論文の執筆を行なっております。4 月 4 日に学内でのポスター発表があるのですが、150 のポスターの中から公衆衛生大学院を代表して大学院の正式インスタグラムアカウントにて取り上げていただくこととなりました。

上記に加え、第一回報告書に記載させていただいた課外研究にも引き続き関わらせていただいております。前学期中に、コネチカット州ハートフォードでの低所得層の青

年のメンタルヘルス向上へのマインドフルネスの効果に関する質的研究についてポスターを作成し、2学会（ResilienceCon 及び The Society for Prevention Research 31st Annual Meeting）でのポスター発表に応募させていただいたのですが、ありがたいことに2学会とも受理していただきました。

また、前学期から関わらせていただいている研究に加え、日本全国で唯一広島叡智学園がすでに導入されている、「SEE ラーニング」という「社会性、情動、倫理を自分の身体で感じて、振り返って、修得する」教育プログラムを日本の教育現場に届けていく、「SEE ラーニング Japan」というチームへ加入させていただきました。

4. 受入地区でのロータリークラブとの関わり、奉仕活動、カウンセラーとの交流

前学期に招待していただいたプロビデンスロータリークラブのイベントにてお声をかけていただいた方から WPRO Service Matters という地元のラジオ番組への出演依頼をいただきました。そして、2月25日に現在学んでいること、プロビデンスロータリークラブとの関わりなどについて15分程度対談形式でお話をさせていただきました。

また、兼ねてより大変お世話になっております、プロビデンスロータリークラブカウンセラーの Bill Applegate 様、そして前クラブ会長でいらっしゃる奥様の Holly 様とランチを3月16日にご一緒させていただきました。そのランチにて、5月16日にプロビデンスロータリークラブ例会にてこの1年間を通しての学びについて会員の皆様の前で発表をさせていただくというお話をいただきました。

5. 今後の目標

早くも1年間のプログラムも残り1ヶ月強となりました。残りわずかとなりましたが、5月16日にはプロビデンスロータリークラブ例会にて受け入れクラブ会員の皆様に、そして日本帰国後には、国際ロータリー第2710地区の皆様に良い報告ができるよう、与えていただいた機会に感謝をしながら、引き続き悔いのないよう全力で取り組んで参ります。



3月16日の Applegate ご夫妻とのランチにて。